



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月10日

上場会社名 ブックオフコーポレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3313 URL https://www.bookoff.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡邊 憲博 TEL 042-750-8588
 四半期報告書提出予定日 2018年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	19,679	△0.3	243	11.1	453	29.9	216	302.4
2018年3月期第1四半期	19,746	△0.7	219	—	348	—	53	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 197百万円 (180.0%) 2018年3月期第1四半期 70百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	10.53	—
2018年3月期第1四半期	2.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	47,646	13,300	27.6
2018年3月期	47,882	13,307	27.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 13,155百万円 2018年3月期 13,166百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を当第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2018年3月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,500	0.6	800	30.3	1,200	9.8	200	—	9.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	22,573,200株	2018年3月期	22,573,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,025,785株	2018年3月期	2,025,785株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	20,547,415株	2018年3月期1Q	20,547,418株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。このたび当社グループが2年後に30期目を迎えるにあたって中期経営方針を策定いたしました。この方針の中で改めて経営理念に立ち返り、私たちのミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げました。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、「本を中核としたリユースのリーディングカンパニー」として、世の中の変化に対応して最も多くのお客様がご利用されるリユースチェーンとなることを目指します。

そのための基本戦略として次の2つを掲げてまいります。

基本戦略Ⅰ：個店を磨く

店舗型とネット型それぞれのリユースサービスを磨き上げることが、最も多くのお客様にご利用いただけるリユースのリーディングカンパニーとなるための出発点と考え、各パッケージ・サービスに応じた磨き込みを行います。

基本戦略Ⅱ：総力戦で取り組む

これまでの当社グループは店舗と店舗以外の事業がそれぞれ個別にサービスを提供をしていましたが、今後は会員制度や販売・買取のプラットフォーム、それらを支えるシステム等を統合し共通化してまいります。そして、各サービスで蓄積された会員・商品情報、運営ノウハウ等の資産を全てのサービスで活用いたします。これらを実現するのが「ひとつのBOOKOFF」構想です。

このような経営方針の下、当第1四半期はリユース店舗事業において各店の地域特性に応じた取扱い商材の追加推進やマレーシアでの「Jalan Jalan Japan」3号店の出店他、ブックオフオンライン事業において物流倉庫内業務の効率化推進等に取り組みました。また、「ひとつのBOOKOFF」構想の第一歩としてブックオフオンラインとブックオフ店舗の会員ID統合とブックオフ公式アプリのリリースを実施しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高19,679百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益243百万円（前年同四半期比11.1%増）、経常利益453百万円（前年同四半期比29.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益216百万円（前年同四半期比302.4%増）となりました。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

(リユース店舗事業)

当セグメントの第1四半期連結累計期間業績は、売上高17,510百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店1店舗となりました。（閉店はグループ直営店2店舗、FC加盟店8店舗）

「BOOKOFF」既存店においてソフトメディア等の売上高が増加した他、前連結会計年度に実施した大型複合店舗の出店や、前連結会計年度に㈱マナス、BOK MARKETING SDN. BHD. を連結子会社化したこと等で増収となりました。

(ブックオフオンライン事業)

当セグメントの第1四半期連結累計期間業績は、売上高1,835百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

ECサイトでの販売が好調に推移したこと、前連結会計年度にヤフーショッピング、アマゾン等販売チャネルの拡充を推進したことにより増収となりました。

(その他)

当セグメントの第1四半期連結累計期間業績は、売上高334百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。（閉店はグループ直営店1店舗）

なお、当社グループの売上高は前年同四半期比0.3%減となりましたが、前連結会計年度にハグオール事業で運営していた催事販売を撤退したことが主な要因です。

（2）財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第1四半期連結会計期間末における資産・負債・純資産の状況

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は31,003百万円（前連結会計年度末は30,762百万円）となり、241百万円増加しました。商品が249百万円増加、現金及び預金が111百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が150百万円減少したことが主な要因です。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は16,643百万円（前連結会計年度末は17,120百万円）となり、476百万円減少しました。有形固定資産が310百万円減少、無形固定資産が10百万円減少、繰延税金資産の減少等で、投資その他の資産が155百万円減少したことが主な要因です。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は34,346百万円（前連結会計年度末は34,574百万円）となり、228百万円減少しました。法人税、配当金の支払い等の資金需要に対し銀行借入で対応したため、借入金が751百万円増加した一方で、法人税等の納付により未払法人税等が487百万円減少、賞与の支払いにより賞与引当金が176百万円減少、買掛金が134百万円減少したこと等が主な要因です。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は13,300百万円（前連結会計年度末は13,307百万円）となり、7百万円減少しました。親会社に帰属する四半期純利益を計上した一方で、剰余金の配当を実施したこと、為替換算調整勘定が減少したこと等が主な要因です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月10日に発表した公表数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,860,355	13,971,888
受取手形及び売掛金	1,488,764	1,338,756
商品	12,949,201	13,198,219
その他	2,465,649	2,496,119
貸倒引当金	△1,761	△1,485
流動資産合計	30,762,210	31,003,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,030,287	3,809,365
リース資産(純額)	1,587,494	1,490,040
その他(純額)	893,256	900,834
有形固定資産合計	6,511,038	6,200,239
無形固定資産		
のれん	138,218	131,520
その他	1,165,461	1,161,308
無形固定資産合計	1,303,680	1,292,828
投資その他の資産		
差入保証金	7,940,492	7,931,772
その他	1,439,330	1,294,769
貸倒引当金	△74,458	△76,479
投資その他の資産合計	9,305,364	9,150,062
固定資産合計	17,120,082	16,643,131
資産合計	47,882,293	47,646,630

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	452,354	317,644
短期借入金	5,386,680	6,900,000
1年内返済予定の長期借入金	4,966,884	4,378,537
1年内償還予定の新株予約権付社債	7,700,000	7,700,000
リース債務	388,181	358,272
未払法人税等	666,342	179,080
賞与引当金	298,246	121,444
売上割戻引当金	680,369	668,006
株主優待引当金	90,683	79,144
店舗等閉鎖損失引当金	55,389	75,561
その他	4,065,439	3,999,071
流動負債合計	24,750,570	24,776,761
固定負債		
長期借入金	6,268,059	6,094,689
店舗等閉鎖損失引当金	35,087	31,579
資産除去債務	1,785,050	1,791,899
リース債務	1,306,364	1,232,313
その他	429,428	419,278
固定負債合計	9,823,989	9,569,759
負債合計	34,574,559	34,346,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,652,394	3,652,394
資本剰余金	4,192,922	4,192,922
利益剰余金	6,605,076	6,615,963
自己株式	△1,255,575	△1,255,575
株主資本合計	13,194,817	13,205,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,345	75,517
為替換算調整勘定	△110,021	△125,919
その他の包括利益累計額合計	△28,676	△50,401
非支配株主持分	141,592	144,806
純資産合計	13,307,733	13,300,109
負債純資産合計	47,882,293	47,646,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	19,746,505	19,679,689
売上原価	8,021,888	7,940,907
売上総利益	11,724,616	11,738,781
販売費及び一般管理費	11,505,343	11,495,102
営業利益	219,273	243,679
営業外収益		
持分法による投資利益	3,486	—
設備賃貸収入	4,242	69,665
自動販売機等設置料収入	31,985	28,015
古紙等リサイクル収入	99,010	97,959
投資事業組合運用益	—	78,636
その他	49,220	61,963
営業外収益合計	187,946	336,240
営業外費用		
支払利息	44,619	39,656
持分法による投資損失	—	2,293
設備賃貸原価	1,214	64,729
その他	12,455	20,005
営業外費用合計	58,288	126,685
経常利益	348,930	453,233
特別利益		
固定資産売却益	—	61,192
負ののれん発生益	20,476	—
特別利益合計	20,476	61,192
特別損失		
投資有価証券評価損	1,322	—
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	2,351	26,309
固定資産除却損	2,955	10,655
減損損失	86,380	33,110
特別損失合計	93,009	70,075
税金等調整前四半期純利益	276,397	444,351
法人税、住民税及び事業税	90,225	78,442
法人税等調整額	127,049	145,851
法人税等合計	217,274	224,294
四半期純利益	59,122	220,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,354	3,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,768	216,360

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	59,122	220,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,048	△7,499
為替換算調整勘定	△6,865	△16,334
持分法適用会社に対する持分相当額	△649	1,626
その他の包括利益合計	11,533	△22,207
四半期包括利益	70,656	197,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,465	194,635
非支配株主に係る四半期包括利益	5,191	3,214

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	ハグホール 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,233,085	1,572,575	612,368	19,418,029	328,475	19,746,505	—	19,746,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,803	323,177	188,273	521,253	84,680	605,934	△605,934	—
計	17,242,888	1,895,753	800,641	19,939,283	413,155	20,352,439	△605,934	19,746,505
セグメント利益又は損 失(△)	899,160	90,465	△222,677	766,948	△38,290	728,657	△509,384	219,273

(注)「その他」は、当社グループ直営の新刊書店の運営、各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工及びブックレビューコミュニティサイトの運営等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	766,948
「その他」区分の利益	△38,290
セグメント間取引消去	4,264
全社費用(注)	△513,648
四半期連結損益計算書の営業利益	219,273

(注)全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース店舗事業」及び「ブックオフオンライン事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては86,380千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「リユース店舗事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、3,561千円であります。

「ブックオフオンライン事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、78,100千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、「リユース店舗事業」セグメントで棚マナスを取得したことにより、負ののれん発生益を20,476千円計上いたしました。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,510,026	1,835,016	19,345,042	334,647	19,679,689	—	19,679,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,149	525,674	546,823	103,329	650,152	△650,152	—
計	17,531,175	2,360,690	19,891,866	437,976	20,329,842	△650,152	19,679,689
セグメント利益又は損失 (△)	764,456	41,420	805,877	△21,637	784,240	△540,561	243,679

(注) 1. 前連結会計年度において「ハグオール事業」セグメントを廃止したことにより、報告セグメントから除外しております。

2. 「その他」は、当社グループ直営の新刊書店の運営、各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工及びブックレビューコミュニティサイトの運営等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	805,877
「その他」区分の利益	△21,637
セグメント間取引消去	26,595
全社費用(注)	△567,157
四半期連結損益計算書の営業利益	243,679

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース店舗事業」及び「ブックオフオンライン事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては33,110千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「リユース店舗事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、27,411千円であります。

「ブックオフオンライン事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、5,699千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。